| 学校番号 | 410 |
|---|---|

# 令和３年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ３単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「現代文Ｂ　改訂版」　（筑摩書房） | | | | | | |
| 副教材等 | 「新常用漢字必携　パーフェクトクリア　改訂版」（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな文章を通して多様な考え方を学び、自分の考えを言葉にする力を身につけてください。
・論理的に読み取る、論理的に思考する訓練をしましょう。
・予習、復習を行い自学自習を心がけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## ２　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | b:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。 | 必要な情報を用い，相手や目的，課題に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。 | 文章を構造的に読み取り、読み取ったことをもとにして自身の考えを深め，発展させている。 | 言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め，知識を身に付けている。文章テーマに関する専門用語の意味を適切に理解している。 |
| 評価方法 | 提出物の内容、授業態度による。 | 提出物の内容、授業態度による。 | 考査の結果、提出物による。 | 考査の結果、提出物による。 | 考査の結果、提出物による。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1 | 贈り物」としてノブレス・オブリージュ | ・ノブレス・オブリージュという言葉の本来の意味を的確に捉え、筆者の主張を文脈に沿って理解する。<br>・個々の人間にとって社会に参画するための資質とはどういうものなのかについて考える。 | ○ | ○ | | ◎ | | ａ：ノブレス・オブリージュについて自分自身の問題として捉えている。<br>ｂ：筆者の意見を自分自身の考えと照らし合わせ、自分の考えを深めている。<br>ｄ：筆者の論理の組み立てを把握し、ノブレスオブリージュという言葉の本来の意味を的確にとらえている。 | 提出物、考査による。 |
| 1 | 待つ | 登場人物の複雑な心理を、直接描かれてない部分も思い描きながら、作者がどのようなメッセージを読者に伝えようとしたのかを考える。<br>・当時の時代背景が主人公の心情とどうリンクしているかについて関心を持つ。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ａ：小説を読んで、主人公の人物像を読み取り、主人公が何を「待っ」ているのかに関心を持っている。<br>ｂ：主人公の心情について、自分なりの感想や意見が述べられる。<br>ｃ：作品を通して考えたことを、自分の考えを明確にしてまとめている。<br>ｄ：主人公の切迫した心情、心の動きを時代背景と関連させて的確に捉えている。<br>ｅ：この小説が書かれた当時の時代背景や、作者の置かれた状況、文学史的意義などについて理解している。 | 提出物、考査による。 |
| 1 | である」ことと する」こと | ・文章の構成や展開を的確に捉え、筆者の主張を把握する。<br>・日本の「近代」のあり方についてよく考える。″ | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ａ：文章の論理の展開をきちんと追うことができている。<br>ｃ：筆者の主張に対し自分の考えをまとめ、文章にすることができている。<br>ｄ：文章の構造を把握し、「権利の行使」の本質を理解し、自らの生き方についても自信の考えを深めている。<br>ｅ：筆者が活動したころの社会状況や筆者の評論活動の意義を適切に理解している。 | 提出物、考査による。 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 舞姫 | ・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。<br>・印象に残った部分や、登場人物の生き方について話し合う。<br>・「日本の近代」という大きなテーマについて2年次で読んだ『こころ』や、3年で学習した「『である』ことと『する』こと」などの内容と関連させて考える | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ａ：小説を読み、登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。近代文学を読むことに興味をもち、積極的に他の作品に手を伸ばそうとしている。<br>ｂ：作品のテーマや感想などについて、積極的に話し合いに参加している。<br>ｃ：主人公の心情に対し自分なりの感想をまとめることができている。<br>ｄ：作品のあらすじをつかみ、場面の展開を理解している。主人公の心情とエリスとの関係性の変化を、場面展開に沿って理解している。<br>ｅ：作者についての知識をもち、日本近代文学史の大まかな流れを理解している。 | 提出物、考査。授業中の取り組みによる。 |
| 2 | 実体の美と状況の美 | ・筆者のいうところの西洋的な「実体の美」と日本の「状況の美」のそれぞれの特徴を対比させ、日本と西洋のそれぞれの美意識や発想法の違いなどについて考える。<br>・論理の展開や要旨を叙述に即して的確にとらえる。 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ａ：文章を読んで、筆者の論理の展開をきちんと追うことができている。<br>ｃ：日本的な「状況の美」について具体例をあげ、選んだ理由を文章で表現できる。<br>ｄ：西洋の「実体の美」と日本の「状況の美」の対比を通して、日本人の美意識の特徴を読み取り、筆者の主張の内容を理解している。<br>ｅ：文章のテーマに関する用語を、文脈に即して理解している。 | 提出物、考査による。 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 短歌・十三首・俳句十五句 | ・短歌・俳句それぞれの発想や構成を、取り上げられている作品を通して理解し、基本的な鑑賞態度を身につける。<br>・個々の歌人・俳人についてそれぞれの特色や、文学史的な位置づけについて学ぶ。 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | ａ：作品世界の理解に努め、日本固有の短い定型詩の意味や価値について知ろうとしている。<br>ｃ：取り上げられている作品を参考にして、高校卒業にあたり自らの思いを短歌にこめる作品が作れる。<br>ｄ：短い定型の作品に展開される世界を読み味わうことができている。<br>ｅ：個々の歌人・俳人について、それぞれの傾向や特徴、文学史的な位置づけについて理解している。 | 提出物、考査による。 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
ｅ:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。